

送辞

冷たい風も少し和らぎ、うららかな暖かい日差しが、春の訪れを感じさせます。本日、晴れてこの高志中学校をご卒業される七期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、現在、多くの方が十五歳です。となると、約5,475日の日々をすごしてきたということになります。そのうちの1,095日を、この高志中学校で過ごしています。その中には、たくさんのお出来事があったと思います。新型コロナウイルスの感染拡大や活動制限、東京研修やシンガポール研修などは実施できたものの、思うようにできないことも、たくさんあったと思います。しかし、先輩方は常に私たちのよきお手本であり、たくさんのお学びを与えてくださいました。私たちが入学してすぐの時に、話しかけてくださって、緊張を和らげてくださいました。学校祭や交流会などでは、様々な工夫で私たちを楽しませてくださいました。本当に、感謝の気持ちでいっぱいです。私が最も先輩方から学びを得たのは、部活動です。私は弦楽部に所属していますが、弦楽器をひいたことは一度もなく、少し不安がありました。でも、毎日先輩方が優しく、丁寧にご指導して下さったおかげで、演奏することに夢中になりました。私が初めてフェニックス祭で演奏した時には、本番前に「いっぱい練習したから何とかなるよ」と笑顔で声をかけて下さったのを覚えています。また、本番の時に堂々と演奏される先輩方は、いつも憧れであり目標です。どんな時でも、笑顔があふれる、明るく楽しい部活の雰囲気を作ってく下さった先輩方との部活動の時間は、かけがえのない大切な思い出です。

先ほど、先輩方が過ごしてきた時間について少しお話ししました。何気なく日常は過ぎていきますが、世界には、今を生きることで精いっぱい、明日が保証されていない人たちがたくさんいます。今年のお正月には、すぐ隣の石川県で、大きな地震が起こりました。でも、テレビに映る石川県の人たちは、「絶対に復興させる」「毎日力強く、前向きに生きていく」と、強い意志を持っていました。その姿を見て、私は励まされ、日常の大切さを感じました。先輩方は、きっとこの高志中学校で、明日を切り拓き、日々成長していく力を身につけられたと思います。この学校で培ったものを活用して、大きな夢に向かって行ってください。あっという間に過ぎてゆく日常の中で、一日一日を大切に、充実させて行ってください。

毎日がうまくいくわけではありません。でも、常に前向きに、成長してこられた先輩方なら、どんなことにも打ち勝っていけると信じています。どんどんと過ぎてゆく日常を大切に、有意義なものにして、努力を積み重ねていってください。昨日よりも今日が、今日よりも明日が、もっといい日になるように、日々過ごしていってください。

私達八期生は、来年度は3年生になります。2年間、ずっと背中を追ってきた先輩方のように、明日を切り拓き、誰かの目標になれる、そんな先輩になれるように邁進していきます。同時に、これからもこの高志という場所で学び、追いかけていけることをうれしく思います。私たちのことを温かく見守り、ご支援くださいますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、先輩方なら、それぞれの人生を輝かせ、彩ってゆくことができると信じています。先輩方のご活躍とご健康を祈り、送る言葉とさせていただきます。本当に、ありがとうございました。

令和6年 3月21日 在校生代表